



第161号  
令和2年11月2日  
能代市教育委員会  
学校教育課

創刊  
昭和42年10月10日  
題字 元能代市教育長  
鎌田 宏

## 随 想



# さわやかな風が吹いた日

向能代小学校長  
加藤 美樹

統合一年目の学習発表会の全校合唱で何を歌えばいいですかね。と音楽主任から相談を受けました。その後、二人で一生懸命に探しましたがなかなかふさわしい曲が見つかりません。

「そうだ！創っちゃえ！」というところで、六年生全員から「新生向能代小学校について自分が抱いているイメージのトップ2」を書いてもらいました。子どもの目線から見た学校の風景を聞くと、大人では決して浮かばない、宝石のような言葉が出てきます。今回もびっくりするような言葉がたくさん。例えば『桜が咲く頃仲間になったね。』『小さな点と点が今つな

がったよ。』『遠くに見える白神の山々』などなど。『輝くほくたちを優しく見守る先生たち』なんて嬉しい言葉まで。もちろん、せっかくなので使わせてもらいました。統合記念オリジナルソングを創るつもりではなかったのですが、子どもたちの言葉をつなげた時、統合記念オリジナルソングになっていました。曲名も六年生に考えてもらいました。「統合したその日は、仲間になった日。それは、さわやかな風がふいた日」だそうで『さわやかな風がふいた日』が曲名になりました。もう、脱帽です。お披露目は総合体育館で行う学習発表会。子どもたちの歌声で、さわやかな感動の風が起きることを願っています。

## スクール ニュース

風の松原の魅力を愉しむ  
淳城西小学校  
教頭 千羽 正人

本校では、校訓「立志」のもと、地域を学びのフィールドに、ふるさと・キャリア教育を推進している。活動の中で、本物に触れる体験は、児童や保護者の学校評価でも好評で、今後も継続してほしいとお願ひされている。地の利を活かした風の松原集会は、天空の不夜城と並ぶ人気行事で、体験活動を通して松原の魅力を存分に愉しめる。松原の秘密を探り親しむことで、後世に引き継いでいこうとする気持ちが培われている。縦割り班でのフィールドワークも、すばらしい景観に包まれながら、松原の雄大さとその役割を肌で感じとることができる。



西っ子は、我が街能代の宝を守すべく、今後も風の松原の無限の可能性を追求し、その底力を発信し続ける。

## 輝きの場面



覇気〜一中若23〜  
新たなチャレンジと伝統の継承  
令和2年9月11日能代第一中学校